

平成 24 年度習志野市文化財審議会会議録（要点）

日 時 平成 25 年 1 月 24 日（木） 午後 1 時 30 分～午後 5 時

場 所 教育委員会 1 階大会議室

出席者

【文化財審議会委員】

山岸委員・夏目委員・清水委員・山本委員・阿由葉委員

【習志野市教育委員会（事務局）】

早瀬生涯学習部長・市川生涯学習部次長

及川生涯学習部副技監・猪股生涯学習部主幹

上野社会教育課長・白鳥文化財係長・松浦副主査・金谷主事

会議次第・内容

— 開会 —

(1) 職員紹介

(2) 委員紹介

(3) 教育長挨拶

(4) 会長・副会長選出

委員からの推薦により、会長には山岸委員、副会長には夏目委員が選出された。

(5) 会長・副会長挨拶

(6) 議事録署名人選出

委員名簿の順に従い、清水委員と山本委員が議事録署名人に選出された。

(7) 報告事項

① 指定文化財・登録文化財等

ア 県指定文化財

事務局 県指定文化財について紹介、現状を報告。

- ・旧大沢家住宅の来場者数を報告。小学校の授業の場としても活用されている。
- ・10月に実施した消防訓練では、昨年同様、火災と地震を想定した訓練を行った。
- ・旧鵜田家住宅は、東日本大震災で被災したため現在休館中であるが、平成24年1月から庭の一部を開放している。来場者数は、一昨年の震災前と比較すると減少しているものの、景観を愛好される方々などの来場がみられる。
- ・旧鵜田家住宅の被災状況と復旧に向けた作業について報告。
- ・下総三山の七年祭りについて説明。
- ・藤崎堀込貝塚について説明。
- ・村小旗について説明。

イ 市指定文化財

事務局 市指定文化財について紹介、現状を報告。

- ・藤崎正福寺大イチョウは、平成 24 年 1 月に精密診断を実施し、同年 3 月に大規模な剪定作業を行った。現在は経過を観察している状態である。
- ・鷺沼 B 号墳箱式石棺は、上屋の外側から自由に見学することができるため、定期的に清掃を行っている。
- ・海苔養殖用具他一括は向山小学校の資料室で展示されている。

ウ 国登録有形文化財

事務局 国登録有形文化財について紹介、現状を報告。

- ・千葉工業大学通用門（旧鉄道第二連隊表門）について説明。
- ・旧陸軍演習場内圍壁について説明。
- ・廣瀬家住宅主屋・蔵・倉庫・井戸上屋について説明。

エ 国選定 文化財の保存技術

事務局 国選定文化財保存技術（表具用刷毛製作）の保持者 田中重己氏について説明。

オ その他

事務局 未指定文化財について説明。

② 埋蔵文化財

ア 開発に伴う埋蔵文化財の取扱確認・協議業務

事務局 埋蔵文化財包蔵地に係る相談業務、確認・協議の状況を報告。

イ 周知の埋蔵文化財包蔵地における埋蔵文化財の取扱い

事務局 周知の埋蔵文化財包蔵地における埋蔵文化財の取扱いについて報告。

ウ 谷津貝塚埋蔵文化財発掘調査

事務局 『谷津貝塚埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅱ』、『谷津貝塚埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅲ』及び『谷津貝塚埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅳ』の作成作業について報告。

- ・現在、区画整理組合から委託を受けた民間調査組織が、発掘調査の記録類や出土遺物を整理して、報告書を作成する作業を実施している。教育委員会はこの作業の指導にあっている。
- ・報告書Ⅰはすでに刊行済みであり、現在はⅡ・Ⅲ・Ⅳの作業が進められている。

③ その他

ア 文化財等の調査・整理

事務局 市史編さん室における資料の保管状況について説明。

- ・継続的に資料を収集し、保管している資料の整理を進めている。

イ 文化財等の普及・活用

a 第7回千葉県北西部地区文化財発表会・巡回展

事務局 千葉県北西部地区文化財行政担当者連絡協議会が2年に1回開催している文化財の発表会・展示会について報告。

- ・「ムラから村へー掘りおこす土地の歴史ー」というテーマで、主に古代の集落を中心に様々なムラの成り立ちを紹介した。習志野市は、「縄文時代前期のムラー習志野市実籾3丁目遺跡(11)ー」と題して、実籾3丁目遺跡(11)について展示・発表を行った。
- ・展示は流山市・船橋市・市川市の3か所で行い、合計6,000人近い来場者があった。市川市で開催された発表会では350人の参加者があった。

b 習志野市、東邦考古学研究会所蔵「考古遺物展示会」

事務局 市民プラザ大久保で開催された展示会について説明。

- ・東邦考古学研究会が収集した資料の展示を中心に、教育委員会所蔵の資料も展示した。
- ・12月9日の講演会では、山岸委員が近年の日本の考古学的発見について講演し、教育委員会からも市内の主な遺跡について説明した。

c 埋蔵文化財調査室・総合教育センターで出土遺物の展示

事務局 埋蔵文化財調査室・総合教育センターにおける出土遺物の展示施設について説明。

- ・平成9年、市内の埋蔵文化財発掘調査に伴う整理作業及び出土品の保管のための施設として、谷津南小学校の中に埋蔵文化財調査室が開設され、平成14年からは資料の展示を開始した。
- ・昨年度から、習志野市総合教育センターの1階ロビーにおいて、市内の遺跡から出土した資料を展示している。

d 習志野市立各中学校生徒の職場体験学習の受け入れ

事務局 中学校生徒の職場体験学習を受け入れ、埋蔵文化財調査室において遺物整理作業の体験学習を実施した。

e 出前講座等への講師派遣

事務局 講師を派遣した各講座について報告。

f 文化財関係の問合せへの回答

事務局 市民、他自治体等からの文化財・歴史に関する問合せに回答した。

ウ 文化財保護行政の推進

a 千葉県北西部地区文化財行政担当者連絡協議会

事務局 文化財関係の情報交換、展示会・発表会の準備作業などを行った。

b 研修会・講習会等

事務局 参加した各種研修会・講習会等について報告。

エ 文化財の指定・登録について

事務局 文化財の指定候補について説明（詳細は非公開）。

（８）協議

①習志野市文化財審議会の公開について

事務局 文化財審議会の公開について、協議を依頼。

・「習志野市審議会等の設置及び運営等に関する指針」について説明。

・これまでの文化財審議会での本件に係る協議、近隣市等の状況について説明。

委員 近年の傾向としては、こういった委員会等は各行政で公開されているということが大きいと思うので、原則は公開すべきであると考えます。ただし、所有者の問題、いわゆる個人情報に関わる内容については、相当な神経を使わなければならない。仮に公開となった場合、個人情報に関するものが含まれている審議あるいは報告について、公開・非公開に分けなければならず、事務局側の繁雑な作業を伴うことが予測される。

委員 私も基本的には公開することに賛成である。他市では議題や内容によって非公開にしている。これはやはり個人情報などが協議の内容として入ってくる可能性があるためであり、名称を伏せて協議を行うことができるのであれば、公開の可能性も出てくるのではないかと思う。

委員 たとえば、文化財の候補についてそのまま公開してしまうと、色々な人が調査を始めて、市が指定しようとする前に所有してしまうという、そういうケースもあるかもしれない。そのような情報というのは、どこを基準にして協議するのかということが非常に難しい。

会長 今、委員から出た業務の繁雑さ、委員から出た危惧を考えて、事務局の方で対応することはできるのか。

事務局 公開すべき案件、非公開にすべき案件を審議の前に委員の方々には相談させていただき、会議の冒頭に公開・非公開を決定するというような形で対応することは

可能である。

委員 その辺の仕分けをできるのであれば公開が良い。

委員 当事者が傍聴を希望する場合など、具体的な案件では、ケースバイケースでやっていくしかないのではないかと思います。市民の方で傍聴したいという方がいるのであれば、それだけ関心を持ってくださるということはとても良いことであり、可能な範囲で聞いていただくのは良いことではないかと思います。

会長 では、この会議では次回以降原則公開とする。ただし議題・内容等によっては非公開とする。そのために審議会の前に事務局と打ち合わせをするというような方向で持っていきたいと思うが、よろしいか。

(異議なし)

(9) その他

(10) 視察 旧鴫田家住宅

— 閉会 —

以上